

平成29年度事業計画

同窓会創立102年目の今年度、母校が更に耀きを増す大学として存在するために、定款に定めた事業目的である大学支援事業を的確に実施すると同時に、全学同窓会として更なる発展のための事業として基盤の整備と会員サービスの充実を図る。具体的には、中長期計画の策定や大学と連携をしながら、データベースの整備と機関紙の電子化や昨年配布した会員証の利活用内容を拡充し、会員サービスの充実を図る。

1. 大学支援事業

(1) 教育研究支援

大学の教育研究活動に対する支援

ア 教育に対する支援

第二部教職科目(職業指導)への実務型教員(非常勤講師)の派遣を継続すると共に、第一部の授業への拡大についての検討も継続

イ 教員に対する研究助成等教育研究活動の環境整備に対する支援

ウ 定年退職教職員への感謝状と記念品贈呈

(2) 学生支援

学生の人材育成に対する支援

ア 学生の海外研修・留学支援

イ 優秀な卒業生に対する「名古屋工業会賞」の贈呈

ウ 「名古屋工業会特別奨学金」を転換し、「給付型奨学金」制度の創設 (成績優秀者から経済的に支援を必要とする者への給付型奨学金)

エ 挑戦的課外活動活性化奨励金の給付

オ 「工大祭」の支援

カ 就職活動支援

- ・ 就職活動対象学生に対し、就職ガイダンスの一環として「OBトップセミナー」の開催
- ・ 「卒業生と学生との懇談会」による就職支援

キ 留学生後援会への援助

ク 在学生及び保護者に対する大学の各種情報提供の支援

(3) その他の支援

ア 大学が行う各種の事業及び学生生活活動に対する支援

- ・ ホームカミングデー

イ 鶴桜会(OG会)の支援

ウ 工業会の諸行事の機会を通じた大学基金への寄付に対する協力

エ 同期会、クラブOB会等種々の機会を通じた寄付風土の醸成

2. 名古屋工業会の更なる充実のための事業

(1) 財政基盤の強化のための会員増強活動

ア 在学生への活動

① 新入生の入会率向上策の成果検証と、さらなる改善策の検討

② 未入会者に対する入会勧誘及び卒業時における未入会学生への勧誘

イ 卒業生への活動

- ① 入会率を向上させるため、各種の会合を通じた積極的な入会勧誘の実施
- ② 各支部行事の機会における支部単位での積極的な入会勧誘

ウ 単科会への活動

- ① 単科会が主催する「卒業生と学生の懇談会（前述 1（2）カ）」における未加入者の入会勧誘
- ② 単科会会員のうち、名古屋工業会未加入者に対する積極的な入会勧誘

（2）活性化活動

ア 会員交流および広報活動

- ① 会誌「ごきそ」を隔月に発行し、会員に対する大学情報の提供と会員間交流情報の媒体としてより魅力ある会誌の刊行を行う
なお、閲覧はホームページを積極的に活用する。
但し、一定の期間は希望者に郵送を同時に行う。
- ② 「ごきそ」電子版としてのホームページの充実
- ③ 学生会員の保護者に対する当会の理念及び事業等の説明会を開催
- ④ 当会の事業に賛同する団体(単科会、同期会、鶴桜会（OG会）、クラブ OB 会等)に会友として参加するよう働きかけると共に、「ごきそ」及び「ホームページ」等当会の広報媒体への参加、利用を促進

イ 会員情報・優待制度の充実

- ① 会員優待制度の普及・充実
- ② 会員証の利用・普及を拡充するとともに、有効期限更新時の会員データ更新も可能なようにする。
- ③ 人材データベース構築のため、卒業生連携室の協力を得て会員名簿を整備

ウ 支部活動

- ① 支部活動は会員サービスそのものであり、特に会員数の増加が見込まれる、名古屋、東京、大阪の各支部活動の充実を図り、継続的運営の整備を図る
- ② 全国会員の人的ネットワーク形成の推進のため本部と連携し、全国各支部の事業を充実し会員のコミュニケーションの活性化を促進

エ 単科会との連携

- ① 工業会と大学及び単科会との連携等について検討
- ② 単科会が主催する「卒業生と学生との懇談会（前述 1（2）カ）」を支援

オ 講演会の開催

- ① 会員総会後に特別学術講演会を開催

カ 記念品の贈呈

- ① 叙位叙勲者および国家褒章受賞者に記念品贈呈
- ② 卒業満 70、60、50、40 周年に該当する会員に記念品贈呈

キ 工業会館の建て替えの検討

3. その他の事業

- （1）中長期計画の策定
- （2）他国立大学同窓会との情報交換及び連携を図り、活動の充実へ繋ぐ
- （3）付随的な事業として、オフィス及び駐車場の賃貸

以 上

平成29年度収支予算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

1. 収入の部

(単位:千円)

勘 定 科 目	H29年度予算(A)	H28年度決算(B)	増減(A-B)
1) 事業収入等	4,400	4,515	△ 115
(1) 財産利子収入	2,000	2,001	△ 1
(2) 会誌広告収入	320	318	2
(3) オフィス賃貸収入	1,300	1,369	△ 69
(4) 駐車場賃貸収入	770	767	3
(5) 寄附金収入	10	60	△ 50
2) 入会金, 会費収入	81,380	80,290	1,090
(1) 入会金収入	150	154	△ 4
(2) 年度会費収入	5,800	4,706	1,094
(3) 終身会費収入	75,300	75,300	0
(4) 賛助会費収入	130	130	0
3) 雑収入	100	105	△ 5
(1) 雑収入	100	105	△ 5
4) 積立預金取崩収入	6,744	743	6,001
(1) 減価償却積立預金取崩収入	800	743	57
(2) 調査研究助成積立預金取崩収入	5,944	0	5,944
5) 前期繰越収支差額	△ 1,924	7,514	△ 9,438
(1) 前期繰越収支差額	△ 1,924	7,514	△ 9,438
収入の部合計	90,700	93,167	△ 2,467

※ 平成29年度借入限度額及び債務負担額についての該当事項はありません。

2. 支出の部

(単位:千円)

勘 定 科 目	H29年度予算(A)	H28年度決算(B)	増減(A-B)
1) 事業費	79,400	83,912	△ 4,512
(1) 大学支援事業	46,800	47,482	△ 682
ア 教育研究支援	7,300	7,247	53
イ 学生支援	38,000	38,594	△ 594
ウ その他支援	1,500	1,641	△ 141
(2) 工業会の充実のための事業	30,000	33,826	△ 3,826
ア 会員増強活動	2,800	2,789	11
イ 広報活動	12,900	17,833	△ 4,933
ウ 支部活動	11,800	10,762	1,038
エ 会員慶弔	2,300	2,276	24
オ 講演会	200	166	34
(3) 収益事業	2,600	2,604	△ 4
ア オフィス賃貸	2,200	2,199	1
イ 駐車場賃貸	400	405	△ 5
2) 管理費	10,500	10,436	64
(1) 総会経費	2,200	2,181	19
(2) 管理諸経費	8,300	8,255	45
3) 固定資産取得支出	800	743	57
(1) 固定資産取得支出	800	743	57
4) 次期繰越収支差額	0	△ 1,924	1,924
(1) 次期繰越収支差額	0	△ 1,924	1,924
支出の部合計	90,700	93,167	△ 2,467

注1 ごきそ電子化による効果

注2 支部行事支援金の平準化

OBトップセミナー

(学生就職支援事業)

井上昌信氏ご講演

30年の製造メーカー経験から伝えたいこと

皆さん、こんにちは。日本ガイシの井上でございます。本日はこのような講演の機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は、セラミックス製造メーカーに身をおいておりますので、本来でしたらものづくりの楽しさをお話しようと思ったのですが、なかなかものづくりの楽しさは伝えづらいし、伝わらないだろうなと思いました。

そこで今回は、私の体験談、生きてきた過程の中で、どんなことを悩んで、何を学んできたのかということをお話しした方が、これから就職活動に入っていく方達が多いと聞いていますので、役に立つのかなということで、お話しをさせていただきたいと思います。

本日の伝えたいことは、企業で働くイメージのアップとか、自分自身のキャリアデザイン、会社がどんな学生を求めているかというようなこととお話ししたいと思います。

精神論的に伝えたいことになりますが、30年の企業経験から、悩みながら答えは見つけていくものだということを知りました。また、私が会社に入った時にはキャリアデザインはなくて、当時は明確な目標を持たずに業務に流されてきましたが、そんな中でもこんなキャリアのとり方もあるよね、いつからでもやり直せるよねという、そんな安心感も皆さんにお伝えできたらなと考えています。

今日の内容ですけれども、簡単に自己紹介と会社紹介をさせて頂いて、名工大の卒業生が、我々の会社の中で、どのように働いているのかということ、それから、私が歩んできた道を話して、最後に締めたいと思います。

【自己紹介と会社紹介】

会社紹介については、後日、日本ガイシの会社説明会が名工大であると聞いていますので、詳しく知りたい方はそちらの方で、お聞きください。ここでは私の自己紹介の都合上、知っておいてもらった方がいいなということをお話しします。

私の自己紹介です。先程ご説明あったと思いますが、私自体、就職前には予想だになかった、設備の設計という業務を出発点に、設備技術とか、工場建設業務という設備屋の世界が約20年と一番長い経験になっています。丁度3年前に、産業プロセス事業部へ移り現在に至っているというのが大まかなキャリアです。もう少し詳しく説明しますと、生産機械工学科を卒業して、日本ガイシ本社の生産技術部に入り、我々の創業であるガイシの製造設備の設計・立上げで設計を覚えまして、



そのあと新しく事業化したNAS電池の生産技術や量産設備の設計を経験しました。そのあとは本社の設備部門に再び戻って、日本ガイシで製造している主だった製品の設備設計ですとか、海外を含む工場建設業務に長い期間に渡り携わりました。3年前に産業プロセス事業部というところに移ったとお話しましたが、この事業部は、産業プロセス装置の販売とか、エンジニアリングの事業体でありまして、昨年に事業責任者に、今年執行役員になりました。

【会社の概要】

私が大学の3年生だった時、就職活動を始める前は、この会社を知りませんでした。知らない方もいらっしゃると思うので説明すると、名古屋市瑞穂区に本社をおいております。2年後、2019年に100周年を迎える会社です。従業員数は、連結で17000人程度、連結会社としては大体60社ほどあります。海外の生産拠点は17箇所、10カ国に及んでいます。中国、タイ、インドネシア、それからアメリカ、メキシコ、ポーランドにも拠点があります。私は、設備の世界が長いので、殆どの海外生産拠点向けの設備設計、工場建設に携わってきたということになります。国内は、名古屋、知多、小牧、それから石川県にも主力工場がありまして、国内マザー工場の技術をベースに海外に進出しているということになります。

これは知識として知っておいていただければ良いですけれども、森村組を始めに、食器のノリタケ、衛生陶器のTOTO、日本ガイシ、スパークプラグの日本特殊陶業、の順で分離・独立していった会社でございますので、この4社というのは兄弟会社です。

昨年度の売上と営業利益は、約4千4百億円と約800億円程度となっており、最近では客先である自動車の関連企業中心に好調であることが、弊社の業績にも現れているということです。次に、弊社の事業内容や製品について簡単に説明します。どこの会社でも同じです

が、ある事業分野ごとにくられているのが一般的です。弊社は大きく分けて3つの事業分野に分かれています。電力関連の事業、セラミックス事業と書いてありますが、見ていただければわかるように自動車関連製品を中心とした事業、電子分野を中心としたエレクトロニクス事業の3つですが、いずれもセラミック技術をキーに事業展開しております。

各事業分野のそれぞれの製品を説明するつもりはないのですが、どういった製品の設備を設計してきたかを、事業分野の製品別にかいつまんで説明します。

私が入社しまして最初に手掛けた設備というのは、ここに示すような懸垂ガイシをつくる製造設備です。この手の世界のものはオールドセラミックスですので、土を練って粘土状にし、それをプレス成形するとか、切削加工して、乾燥した後、釉薬をぬって焼成するという工程です。だいたいこのぐらいの製品ですと、約4秒に1ヶのピッチぐらいで製造するのですが、過去から受け継がれた設備を改善設計することが、私の最初の設備設計のスタートでした。

そのあと、NAS電池の製造設備を手がけました。ナトリウム硫黄電池です。太陽光発電だとか、風力発電に併設される用途が多い大型蓄電池です。私が30代の頃は、まさにこの電池をこれから量産していくという段階から携わりまして、頑張っても1日2～3本しか生産できなかったものを、日に2千本、3千本作れるような量産設備を自社設計していたというのが30代の頃でした。

あと、電子分野で半導体製造用途のセラミックスとか、ウェハーとか、パッケージの製造設備にも携わりました。この世界はどちらかというと、セラミックスの特徴、材料の特性を活かし、専門メーカーの装置に、我々が付加価値・機能をつけて、設備を造り上げるということで設計しました。ここに示す製品のハニカムですとかDPFの製造設備・工場建設は、ちょうど私が40代ぐらいの時の仕事です。

今、私が所属している事業部の製品についても説明しておきますと、焼成炉ですとか、乾燥装置ですとか、廃棄物処理設備といったものを設計して販売する、エンジニアリング主体の事業部です。なぜ、セラミックスメーカーでこんなビジネスをやっているのかということになりますが、このような装置には特徴ある自社製のセラミックス部品が使われており、他社には真似できない特徴ある装置にして顧客に提供しています。

【工学部出身者のキャリアデザイン】

自己紹介と会社紹介についてはこの辺で終わりにして、次に企業で働くイメージやキャリアアップのイメージを、少しでもつかんでもらうために、工学部出身者の業務について、弊社の事例をもとにお話しします。工学部出身者が、日本ガイシの中で、どういう技術の括り、カテゴリーで働いているかということですが、大きく全社関連と事業関連の2つに分けられます。全社関連技術ですと、共通技術としての新しい素材や新製品の研究開発や、新製造プロセスや工場建設のような製造技術

となります。事業関連技術ですと先ほど説明した3つの事業分野別に、製品設計や技術開発、生産技術、それから品質管理をするような部門に分かれます。

それで、何がお話したいのかというと、製品や技術、色々な専門性で更に細分化されて課やグループが構成されます。ですから、当社で、数をかぞえてみたところ、何々技術グループと名がつく部門は、150以上に細分化されており、外から見たときには、具体的にどんな業務に取り組んでいるのかわかりづらくなっています。

それから、最近ですと、電気、機械、化学、材料、情報といった、多種多様の専門の技術屋が集まって、1つにグループ編成されていることが、多くなっています。やはり、最近の技術ニーズに応えようとする、いろいろな専門分野の人が関わり合いをもって仕事をするのが主流になってきているということです。

ですから、弊社はセラミックスメーカーですけども、学科の専門性を問わず、工学部出身の技術屋の活躍の場はどこにでもあるということです。製造メーカーであれば、どこ企業でも同じであり、活躍の場というのは工学部出身の人間にはたくさんあるということだと思います。

次のスライドに書かせていただいたのは、もっと具体的に日本ガイシの中で、名工大のOBがどれだけいるのかなということ、会社の人事情報は見られるので逐一、一日かけて調査してみた結果です。正確な数字はわかるのですが、ここではばやかして書いてありますけど、だいたい150から200名ぐらいいました。セラミックスメーカーなので、化学屋さんとか材料屋さんが多いかなと思ったのですが、分けけてみると、電気、情報、それから機械、計測、それから化学、金属、と分けるとだいたい3分の1ぐらいずつでした。さすがにちょっと建築、土木の名工大の出身ではいませんでした。

これらの先輩が、ではいったいどういう部署で働いているのかということになりますが、さっきお話しした全社関係の技術部署が2割ぐらいと、事業部関係の技術部署が6割ぐらい。それから海外工場に勤務している人は、1割ぐらいでした。

海外勤務について話しますと、弊社の場合ですとだいたい3年から5年の出向期間が多く、人生、会社に入ってから40年ぐらいとすると、割り算して、掛け算すればわかるんですけど、必ず7、8割の確率で、海外勤務というのはあり得ることになります。私は海外勤務を経験していませんけども、出張ベースでの海外の仕事の経験は当然あります。ですので、ほとんどの人が少なからず絶対に海外で、グローバルに仕事をせざるを得なくなっているのが現実です。学生の頃から語学は多分やられてる今は時代だとは思っていますが、もしやれなかったとしても、心配しなくても会社の中でそういう訓練の場はありますし、語学は勉強してください。

あと残り1割程度の人ですが、営業とか企画とか人事等にいます。調べてみると、技術をある程度身につけた人が、その技術を活かしながら、営業だとか、企画とか人事という部門で活躍しておりますので、そういっ

たキャリアの作り方もあります。

次に役職別という切り口でキャリアデザインを見ていきます。うちの会社は新入社員で入って、主任になって、マネージャーがほしい30半ばから40前後、その後に部長、事業部長、本部長といった役職が存在します。こういう形で年齢と共に一般的に役職は上がっていきますけども、私がみるところにおいて、専門の深化は新入社員からマネージャークラスかなと。主任ぐらいから部長ぐらいまでは専門の深化と並行して、広範囲の技術・知識も求められるようになり、部長ぐらいからは経営能力が求められるようになります。ここで言っている専門の深化というのは、例えば、一例を挙げると我々だとセラミック成形プロセスというのが専門にあたりますが、深化はそれを深彫りして極めて行くことになりますけれど、色々なニーズや課題解決に対応しようとすると、知識を広げて周りの技術を取り込んでいくことが必要になってくる。キャリアアップというのは、部署を転々としながら、役職が上がりながら、技術の中を広げていくことが製造メーカーでの現実ではないかと思います。

では、話を変えて、ここからは参考までに自身のキャリアについてお話しておきます。あまり大したキャリアではないので、一番気乗りしないのですが、学生の頃、新人の頃、マネージャーの頃、部長の頃、今現在、それぞれの時代にどんなことに悩んでどう学んだかということを中心にお話します。これから皆さんが社会に出て生きていく中で、同じような悩みを持つのではないかなと思いますので、参考にいただければと思います。

私の学生の頃というのは、非常に中途半端な生活をしていました。情けないかな。一応生産機械工学科に入学して3年生になったのですが、まず目的意識がなかったですね。1年浪人して、勉強に飽きた。大して勉強してないですけどね。学業は留年しないように、ここに書いてあるような遊びを適当にやりながら、過ごしました。嫌いな科目は、設計製図でした。それから情報処理。なぜかというと、苦手で成績が悪かったからよく落ちたし、大嫌いでした。

就職活動が3年生から始まって、恵まれていたのが就職難でなかったということだと思います。会社選びというと、苦手な設計だとか情報処理が技術のメインでないところを考えて、セラミックスメーカーなら何かやることが見つかるかもしれないね、ということで選んだのですが、結果的には浅はかな考えでした。会社選びという点では失敗だったなと思っていますし、キャリアデザインは無かった。現在、今まさにあなたたちは、たぶんインターシップの手があるので、うまく活用してイメージアップを図られた方が、いいかなと思います。

大学在学中で一番、社会に出て役に立った教授の言葉は、『社会に出ると夜眠れなくなるようなことがよく起こるから、要は、くよくよ悩まず、そんな時は酒飲んでぐっすり眠って、気分新たに、次の日出社しなさい』という言葉が、頭にこびりついていて、会社に入ってからは大いに悩むことが度々ありましたが、非常に助けられま

した。体調に問題がなければ、お酒の練習もしておいた方がいいかなと思います。

次は入社してから主任前の30歳ぐらいまでの頃ですが、この頃は不安を抱えて手探りの時期でした。大学を卒業して、日本ガイシに入社したのですが、まず生産技術部門で嫌いなコンピューターソフトの仕事につきました。そうこうしていたら、これが僕の設備屋としてのスタートなのですが、嫌いな設計の部門に転籍しました。ですが、不思議なもので、毎日毎日朝から晩までドラフターに向かう日々が続きますと、面白いもので、成績が悪くて嫌いだっただけですけど、ずっと業務でやっていると身に付くものでして、設計できるようになりましたね。

仕事は非常に繁忙でしたが、とにかく不安を抱えて手探りの時期だったと、今振り返ると思います。とにかく会社に入ると、会社の中に自分の居場所があるのだろうか、とか、自分にできる仕事があるのだろうかということを、常に悩んでいたような気がします。でも、結果として今言えるのは、何故その頃悩みながらでも会社を辞めずに居れたのかということ、仲間がいたからなんだよねということもあります。とにかく仕事については、ぶれずに仕事に取り組んできたよねってところが、大きな答えなのかなと思います。

この頃の話が皆さんの参考になるかどうかですけども、入社されてこれから、世の中に出て行くのであれば、私はとにかく先輩とか仲間に恵まれましたけど、その中に溶け込もうと努力したし、あまり愚痴を言わずに前向きに考えていたかなあという気がします。仕事の面では、自ら設計して作った設備は次から次へと動かない毎日でしたが、とにかく逃げずに、現場と一緒に立ち上げたということで、現場から非常に感謝されたのはそういった中でも励みになりました。

それから30ぐらいになると、要は社会人としてやっと一人前になった頃です。そこで悩んだのは、仕事はこのまま続けられそうなのかということですね。このぐらいになると会社に入って7年8年になってくるんですけど、小学校、中学校、高校、大学と、6年3年3年4年っていう過程で、6年以上一箇所にいたことがない中で、もう6年以上続いてしまう。だから本当にこのままで良いのかなと考えるようになる。私の場合は、仕事の中で、自分なりに楽しみとか工夫を見つけて乗り切ってきました。30歳ぐらいのときに先程お話したナトリウム硫黄電池の新しいプロジェクトに入りましたので、自分なりに考えた設計とか工夫とか設備を動かす楽しみがやりがいになってきたっていうことです。

またその頃には私生活にも変化があって、結婚をしたし、ローンも抱えたし、子どもできたということで、私生活でも悩みを抱えながら生きてきました。

30にして、やっと設備の世界で飯が食べていける自信ができました。とにかく学校とは違い、悩みや問題に答えが出るまでには時間がかかりますが、でも諦めずに継続していくことが自分自身の自信に繋がっていくのではないかなということを学びました。一人で抱え込まなかったことも良かったかなと思います。

35から50歳ぐらいの間は、先程もお話しましたが、また出戻りのように全社の設備部門に転籍しました。その中で設計部長までいったのですが、とにかくどんどん仕事規模が大きくなっていきました。この頃は海外に工場を建設する仕事が多くなってきたものですから、この大きなプラントと大きな仕事を一体どうやって成功させるのかということが一番の悩みでした。結果として学んだのは、いろいろな分野の人達の英知を集めて、それから、達成感をみんなで味わうというのが重要じゃないかなと思いますね。

ここに書きましたが、どんどん大きな仕事を任されるようになってきた頃です。技術の幅をどうやって広げるのかという悩みがありますけども、私の場合は全社の設備屋として、結局、日本ガイシの設備全般の面倒を見ることになって、製造プロセスだとか、ものづくりに携わって、知識アップになりました。

まとめると、一人で頑張ってみたところで結局のところは、成功しないということと、この頃の私の楽しみはやっぱりみんなで、ものづくりの楽しみとか達成感っていうのを得られるってことが喜びだったと思います。

あと、それ以外に学んだことは、今振り返るとマネジメント。マネジメントと言いますが、どちらかというと、マネジメントというよりも、いろいろな分野の人たちをコーディネートしながら、仕事をやっていくということが、重要ではないかなと思います。

また少し話しは変わりますが、製造メーカーに入ると何が良いかというと、会社だから大きなお金を動かして、より大きなことができるような楽しみがあるというのが、メーカーに就職する楽しみかなと思います。

次に現在の悩みについてお話します。私の事業部門は1000人近くいまして、今一番の悩みは、この1000名の人達の生計を維持して、世の中に貢献できる事業ができるのかというのが今は悩みです。常に悩んでいます。事業部の人達と、とにかくみんなで考えることかなということで、進めて行こうかと思っています。

産業プロセス事業部は、会社紹介の中でお話ししたとおり、特徴のあるセラミックス製部品をキーにして、貢献できる装置を世の中に出していく事業部です。1000名の従業員を抱えているので、家族を入れたら3000人も4000人もいるよねってところでプレッシャーがかかっているのと、それまでのキャリアはずっと技術だったのですね。この立場になると、営業してお客さんのところに行かなきゃだめだという話になり、経験がない分悩みますが、お客さんとか、協力会社の企業の人達とよく話をするようになって、わかってきたのは、お互いにメリットがあり、継続した良い関係をきちんと作るということと、日本ガイシのファンを作っていくということが、重要じゃないかなということに最近気付いてきました。まあ、これからまた変わるかもしれませんが。今の私はこういう考え方でやっています。まあ、最大の悩み、問題だったのは、赤字の事業部を任されたことです。やっと先期0になって、今期はちゃんと黒が出るようにはなったので、いまのところはいいのですが、非常に悩ましい毎日が続い

ています。

それから、私生活はあまりお話ししなかったですけど、年齢と共に過去にやっていたような遊びは諦めることが多くなってきていますので、これから社会に出て行くのなら、若いうちからゴルフにしろテニスにしろ、いろんなことをやっておいた方が、捨てるものが多くなるので、沢山やっておいた方が得ですよということをお伝えしておきます。

【企業が期待する人財】

最後になりますが、私が思うところは、やっぱり、熱意を持って、継続して取り組む人財ではないかな。学業、研究活動、研究成果、それからサークル活動、学外活動とかあるかもしれません。覚えておいてほしいのは、企業の面接だとか試験を受けると、採用する側は、ひとつのことをやり遂げたかどうかを一つの判断指標としてみます。でも、学生時代にひとつのことをやり遂げた人が、じゃあ会社に入ってきたらちゃんとできるかという、過去の実績が未来を保証するものではない、ということで、そういう人達が必ずしもきちんと成功しているわけではない、ということ覚えておいてほしい。逆に言うと、学生時代にやれてなくてもこれからきちんとやれるチャンスはあります。私は学生時代やり遂げたとと言えるものはありませんでした。人は変わるし、変わっていくし、変わる存在なのだということです。社会人としてのこれからが人生一番長いです。今ですと弊社でも定年が65歳になってきているので、40年以上という時間があります。まだあなたたちは、20年ちょっとしか生きていないのですね。これからどう生きていくのかのスタート地点に今いますので、熱意を持って取り組むのがいいのではないかと。で、熱意を持って取り組むかどうかというのは、やはり自分自身の判断で、他の人がどうのこうのって言ったとしても最後は自分自身で判断することです。自分自身への信頼であり、自問自答であり、ある意味洗脳ということかもしれないと思います。

最後の最後になりますが、就職活動の結果の良し悪しは、これから決めるものではないですが、社会に踏みだしていく過程の第一歩と考えて、きちんと取り組まれた方がいいと思います。納得がいくまで努力したら、80点台。この会社が良かったところどころでいろんな部署があるわけですから、要は出た結論、環境の中で、悩みながら、熱意を持って取り組むことで、多分、道は開けていくのではないかなと思います。あとは、悩み過ぎると病気になりますので、限界以上に悩まない。悩みとうまく付き合うために、酒だとか趣味だとか、時には環境のせいにするのも重要だと思います。このようなプレゼンで思いが伝わったかはありますが、これから社会に出て行く名工大の方たちが、外に出て活躍してくれることを非常に期待します。

どうも清聴ありがとうございました。

記：日本ガイシ株式会社 執行役員
井上 昌信 (M61)

研究者紹介

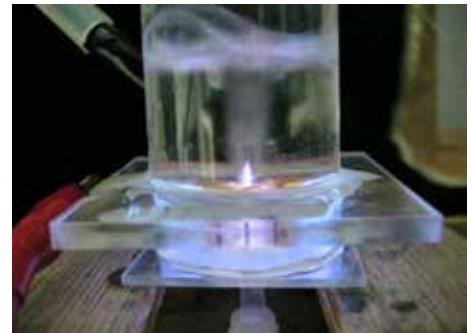
水中プラズマ技術を利用した 植物工場培養液の殺菌

研究者／安井 晋示 教授 研究分野／電気・機械工学



身近な植物工場でプラズマ!?

スーパーの野菜売り場では、植物工場で作られたレタス、クレソン、ハーブ、水菜などが陳列されている。また、家庭向けの小型植物工場も売られており、食の安全にこだわりを持つ人は自分で育てている。植物工場は身近になってきている。天候に左右されずに安定供給でき、重労働を軽減でき、高齢者などの雇用につながるなど、利点は多い。農薬などを使わない、というのも、植物工場の野菜の特徴であるが、その栽培には、農薬ではない殺菌方法が工夫されている。プラズマを使った殺菌に取り組まれているのが、安井先生だ。



水中プラズマ

植物工場での殺菌

植物工場では、土からの栄養に変わり、肥料を水に溶かした培養液で植物を生育し、その培養液を循環させる閉鎖系システムが主流だが、一旦植物工場内に病原菌が侵入してしまうと、培養液を介して病害が蔓延してしまう。病原菌の混入を防ぐため、植物の種子や水耕栽培施設内への病原菌の混入を完全に防ぐことは困難である。そのため、培養液に混入した病原菌を殺菌する技術が必須となる。現在、殺菌はオゾン水や紫外線を用いているが、問題点も多い。オゾン水による殺菌は、オゾン水もしくは気中に放出されるオゾンにより、植物の生長を阻害するクロロシスの病害をもたらす。紫外線による殺菌では、紫外線ランプが高価、また培養液で汚れたガラスでは殺菌効果が減ってしまう。

実用化に向けて開発は進む！

安井先生は、水中で安定してプラズマを生成するプラズマ生成電極を開発し、さまざまなガスを使いプラズマを発生させている。ガスによっては、クロロシスの原因となるオゾンが発生してしまうが、アルゴンガスなどの不活性ガスでは、オゾンは発生されない。培養液中で発生させたプラズマにより殺菌させ、循環している培養液を殺菌させるもので、オゾンを発生させず安定した殺菌ができる技術を開発している。安井先生は、プラズマにより生成されるOHなどのラジカル成分が、効果的に殺菌に関与していると考察されている。実際、ハウレンソウの水耕栽培で被害を及ぼすフザリウム菌で殺菌効果を評価したところ、アルゴンガスで生成させたプラズマで、フザリウム菌を完全に死滅させることができた。プラズマを殺菌に使うことで、生育に与える効果についても研究され、植物の生育にプラスの効果があることを、安井先生は期待している。



アルゴンプラズマ処理で育成中

プラズマ生成にかかる消費電力も数100Wと低く、効率の良いプラズマ照射時間・タイミングも検討中で、実用化への開発はさらに進んでいくだろう。ぜひ、お気軽にコンタクトしていただきたい。

名工大テクノロジーチャンネル開設! YouTube にて、研究紹介動画を公開中!



名工大テクノロジーチャンネルは、名古屋工業大学で取り組んでいる最先端テクノロジーに関わる研究を紹介するチャンネルです。名古屋工業大学はものづくり・ひとづくり・未来づくりを社会に向けて掲げています。より多くの視点をものづくりに結び付けるプラットフォームとして、「そうだ!名古屋工業大学に行ってみよう!」と皆様に仰っていただける、「新しい価値づくりの場」であり続けます。名古屋工業大学では、ご紹介している最先端テクノロジーの実用化に向けたパートナーを募集しています。是非、気軽に産学官連携センターまでお問い合わせください。

研究紹介① 伊藤 孝行先生

三人寄れば文殊の知恵インターネットバージョン!

「三人寄れば文殊の知恵」という言葉をご存じですか?凡人でも3人で意見を出し合えば、文殊という知恵を司る神様にも劣らない知恵が出せるということわざですね。そんな意見を出し合える場所をインターネット上で作り出したのが名古屋工業大学の伊藤孝行先生。でもインターネット上で意見交換って、なんだかとっても不安。スムーズに意見がまとめられるのでしょうか。

そこに情報工学の最新テクノロジーが使われていますよ!さあ、「三人寄れば文殊の知恵インターネットバージョン」いったいどんなシステムなのでしょううか?



研究紹介② 北川 啓介先生

膨らむ家!?

私たちが日常的に利用する建物は木造、鉄、コンクリートでできているのが一般的かと思います。

しかし、その費用は坪単価で60万~100万と非常に高い上、自由度が低くすぐに建設したり取り壊したりすることはできません。

一方、建物の歴史をさかのぼると、その素材は、竹、葉っぱ、布、土など様々。もっと手軽に、もっと自由に、もっと楽しく、建てられる家。そんな家の開発を目指して取り組んだ研究「膨らむ家」。

さあ、「膨らむ家」とははたしてどんな研究なのでしょううか。



お問い合わせ先

名古屋工業大学 産学官連携センター

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL:052-735-5627 FAX:052-735-5542 E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2017/4/11	朝	22	桜井敦貴	在学生	sports愛知 ◇弓道ナゴヤユニバーシティカップ
2017/4/14	朝	3	伊藤由美子	卒業生(D⑤)	愛知県警初の女性刑事課長
2017/4/18	WEB	12	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	芦原温泉駅周辺の整備 来月に官民協議会発足
2017/4/18	松阪 紀勢版		須藤美音	建築・デザイン工学科	幼小中の空調、トイレ洋式化 松阪市教委に検討委
2017/4/21	朝	1	名古屋工業大学	—	軍事研究10大学指針 中部6県調査
2017/4/24	夕	11	東岡良河	在学生	教育無償化 自民、改憲の論点に 「法改正で可能」の声も 多額の財源確保が必要
2017/4/24	中日 プラス	10	東岡良河	在学生	教育無償化 自民、改憲の論点に 「法改正で可能」の声も 多額の財源確保が必要
2017/4/30	朝		鉄道研究会	在学生	鉄道模型「速いね」 ぎふ博物館 子どもら楽しむ
2017/5/3	朝	14	鉄道研究会	在学生	ぎふ便り 往年の人気車両 鉄道模型が走る 岐阜駅前で催し
2017/5/9	夕	11	名古屋工業大学	—	苦学生照らし100年 名古屋の「真照会」 500人が巣立つ
2017/5/16	朝	9	岸 雅伸	卒業生(M51)	新社長＝TPR＝岸雅伸氏
2017/5/16	三重版 朝	16	立花 充	卒業生(C56)	副市長に立花氏 鳥羽市
2017/5/17	朝	14	田中由浩	電気・機械工学専攻	第20回国際福祉健康産業展 ウェルフェア2017
2017/5/18	朝	16	秀島栄三	建築・デザイン工学科	再開発 2ゾーンに ガーデンふ頭で計画案
2017/5/20	朝	19	山口誉起	名誉教授	叙位叙勲(19日)
2017/5/30	朝	17	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	あいちまちづくりシンポジウム
2017/5/31	朝	17	宮川孝治	元職員	叙位叙勲(30日)
2017/6/1	朝	7	佐野明人	機械工学科	楽に「アルク」無動力歩行支援機 今仙電機 世界初の健常者向け
2017/6/10	朝	7	藤茂記	卒業生(E55)	アイシン化工社長 藤副社長が就任
2017/6/10	夕	10	木村善一	卒業生(M34)	あなたの時計 未来へつなぐ きょう「時の記念日」 中区 傘寿の“名医” 修理続け60年超
2017/6/15	WEB	2	名古屋工業大学	—	東海地方でも国立8大学が災害時支援協定
2017/6/15	朝		名古屋工業大学	—	東海8国立大が災害対応協定＝南海トラフ地震などに想定

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2017/4/18	朝	3	加藤正史	電気・機械工学専攻	「研究現場発」半導体技術でエネルギー問題解決へ 省エネ・創エネ半導体SiC
2017/5/23	朝	3	片山耕太	生命・応用化学科	光に強い色素をつくる 網膜疾患の治療開発への期待

ホットライン

ロボコン応援記

大学のロボコン工房が『NHK学生ロボコン2017』に出場するとの事で、応援に行きました。6月11日(日) 12時30分から、東京の『大田区総合体育館』で始まりました。(観衆は約3,000人)

まず今年のルールですが、江戸時代の京都のお座敷で始まった『投扇興』という遊びにヒントを得て、『ロボットは1台、フィールド上の7つのスポットに柔らかいディスクを投げて乗せる事で得点になります。』

スポット全てにディスクを乗せれば《APPEAR(天晴れ)！》達成で勝利です。試合は赤対青で、対戦形式、時間は最長3分。ディスクは1チーム50枚です。なお、ロボットの条件としては、縦1.5×横1.5×高1.8(m)で、重量は25kg以内で、直流24V以内。』

大学としては、今まで12回(2003年から…それ以前は記録不明)参加していて、2014年には優勝しています。今年は、顧問の水野直樹教授のもと、学部生29人、院生・OBを含め約40人の皆さんが参加しています。

試合は、書類審査、1次・2次審査をクリアした全24校で、8チームに分かれ、各チーム3校の総当たり・リーグ戦で予選が行われ、勝ち残った8チームが、決勝トーナメントへ進出できます。

名工大はグループHで、他に『京都工芸繊維大学』(強豪)と『仙台高等専門学校名取』が相手で、先ず、緒戦は『京都工芸繊維大学』となり、赤、青に分かれ、試合を開始しました。

こちらはディスクを4枚、5枚と乗せていきますが、相手の方は1分半頃に《APPEAR》を達成してしまい、残念ながら負けてしました。

この後、『仙台高等専門学校名取』戦でも、『京都工芸繊維大学』は《APPEAR》を達成して、グループHの代表となりました。なお、名工大と『仙台高等専門学校名取』戦は、名工大が5対2で勝ちました。

決勝トーナメントにつきましては、予選第1位の『京都工芸繊維大学』と同8位の『東京大学』が対戦し、『東京大学』が勝ち残り、他試合も進み、決勝は過去優勝5回の『東京大学』と過去優勝経験の無い『東京工業大学』の対戦になりました。

『東京工業大学』が、1分5秒で《APPEAR》を達成して、優勝しました。特別賞の中の『技術賞』を『京都工芸繊維大学』は受けました。

記：森川民雄(W45)

《放送予定 7月17日(月・祝)午前9時30分～ NHK総合テレビ》



チームリーダー 伊藤 広朗 (機械工学科3年)
石原 智生 (機械工学科3年)
柴田 大地 (情報工学科3年)



ビットクレー 勝田 修二 (環境材料工学科3年)
壇上 京之介 (電気情報工学科3年)
関本 健人 (物理工学科2年)
指導教員 水野 直樹 (つくり領域 教授)

ホットライン

表彰者紹介

平成28年度叙位・叙勲受章者は以下のとおりです。
5月20日の名古屋工業会の総会で、工業会からの表彰を行いました。

「旭日重光章」 (経済界貢献)

長島 徹



【学 歴】

昭和40年3月 名古屋工業大学 繊維工学科卒業

【職 歴】

昭和40年4月 帝人株式会社 入社
平成12年6月 取締役機能ファイバー事業本部長
平成13年11月 代表取締役社長
平成20年6月 取締役会長
平成22年4月 経済同友会 副代表幹事
平成25年6月 相談役（現在）

コメント：2009年3月から2017年3月の間に旭硝子(株)、双日(株)、積水化学工業(株)、花王(株)の社外役員としてコーポレート・ガバナンスを中心に勤め、現在はイオン(株)とダイキン工業(株)の社外役員を勤めています。又、2014年4月よりものこと双発協議会の理事長に就任し、グローバル・ビジネスの観点から「ものづくり」に加え、サービス・システム・IT・戦略などの「ことづくり」の重要性を提唱しています。2009年3月にオランダ王国オレンジ・ナッソー勲章（勲4等）、同年4月に名古屋工業大学名誉博士号を授与されました。

「瑞宝中綬章」 (教育研究功労)

佐治 學



【学 歴】

昭和35年3月 大阪大学工学部電気工学科
昭和40年3月 大阪大学大学院工学研究科
博士課程単位修了中退

【職 歴】

昭和40年6月 大阪大学工学部電子工学科 助手
昭和42年1月 名古屋工業大学電気工学科 講師助
教授を経て教授
平成3年7月～平成5年6月
夜間学部主事
平成12年3月 名古屋工業大学 定年退官
平成12年4月 名古屋工業大学 名誉教授

コメント：専門分野は電子・電気材料。研究分野は化合物半導体の電子物性・光電物性。電気学会の本部評議委員、応用物理学会の会誌編集委員・理事・本部評議員、3回の国際会議の運営委員、カナダ国マニトバ州立大の客員研究員としてアモルファス半導体の研究に従事（昭和49年9月～50年8月）

平成29年5月20日

会員各位

一般社団法人 名古屋工業会
理事長 水嶋 敏夫

平成29年度定期総会及び決議ご通知

平成29年5月20日(土)開催の一般社団法人名古屋工業会定期総会において、議案全てが議決されましたのでご通知申し上げます。

「瑞宝中綬賞」
(教育研究功労)

池田 哲夫



【職 歴】

昭和41年 4 月 東北大学工学部通信工学科 助手
昭和48年 4 月 名古屋工業大学電気工学科 助教授
昭和52年11月 名古屋工業大学電気工学科 教授
平成13年 3 月 退官 名誉教授

コメント：最近は電磁波が電子機器に与える影響について、いくつかのシンポジウムの座長をしたり、企業の電子機器の対策技術の相談を受けること、又、若い技術者の教育などに携わっております。

「瑞宝中綬章」
(教育研究功労)

小和田 正



【学 歴】

昭和35年 3 月 東北大学理学部数学科卒業
昭和37年 3 月 東北大学大学院理学研究科
修士課程修了

【職 歴】

昭和37年 4 月 名古屋工業大学計測工学科 助手
昭和45年 4 月 津田塾大学 学芸学部 数学教室
助教授
昭和48年 4 月 東京教育大学理学部応用数理学科
助教授
昭和50年 4 月 筑波大学自然学系 助教授
昭和55年 4 月 名古屋工業大学計測工学科 教授
平成12年 3 月 退官 名誉教授
平成12年 4 月 相山女学園大学文化情報学部 教授
平成16年 4 月 中部大学経営情報学部 教授
平成21年 3 月 中部大学経営情報学部 退官

コメント：昭和40年頃の大学紛争のさなかに名工大から東京教育大学に移り、紛争を踏まえた教授会や講座制のない文部省主導の筑波大に配置されるという渦中から再び名工大に赴任した経験を経て、大学の変質が大変気になっています。学生の世界観の変化も未来を予想しにくくさせているようです。

「瑞宝中綬賞」
(教育研究功労)

梅野 正義



【学 歴】

昭和35年 3 月 名古屋工業大学工学部電気工学科
昭和37年 3 月 東京工業大学大学院理工学研究科
電気工学専攻 修士課程修了

【職 歴】

昭和37年 4 月 名古屋大学工学部 助手
昭和42年 2 月 名古屋大学工学部 講師
昭和44年 1 月 名古屋大学工学部 助教授
昭和53年 6 月 名古屋工業大学工学部 教授
平成 8 年 4 月 名古屋工業大学 副学長
平成13年 3 月 名古屋工業大学 退官 名誉教授
平成13年 3 月 中部大学工学部 教授
平成20年 4 月 中部大学工学部 客員教授

コメント：半導体による、光を電気に変換する太陽電池、電気を光に変換する発光ダイオードやレーザー等の光電変換デバイスを中心に研究してきました。中でも結晶成長法として、有機金属気相成長（MOCVD）技術に着目し、企業との共同研究を通して、MOCVD技術の完成度を上げて、インテル(株)等の研究員も受け入れて、光電子集積回路、太陽電池、LED等の研究開発、実用化に努力してきました。現在は、グラフェン等のナノカーボンによる太陽電池等の研究開発と、名工大時代に創設したソーラーカー部の今秋オーストラリアでのソーラーカーレースWSC参戦に協力しています。



「藍綬褒章」
(産業振興功労)

伊奈 功一



【学 歴】

昭和48年 3 月 名古屋工業大学工学部金属工学科
修士課程修了

【職 歴】

昭和48年 4 月 トヨタ自動車工業株式会社 入社
平成14年 6 月 同社 取締役
平成21年 6 月 ダイハツ工業株式会社
取締役副社長（同社へ転籍）
平成22年 6 月 同社 取締役社長
平成25年 6 月 同社 取締役会長
平成28年 6 月 同社 相談役

コメント：このたび、はからずも藍綬褒章受章の栄に浴し、見に余る光栄と存じております。私は前職のトヨタ自動車で、主に生産技術分野に携わり、平成21年にダイハツ工業に転じ、国内外の生産拡充や技術開発、そして国内市場の活性化、人材育成にも積極的に努めてまいりました。この間、諸先輩並びに多くの関係者の方々のご指導とご支援をいただきながら、仕事に取り組むことができたことを心より感謝申し上げる次第でございます。

平成29年度 名古屋工業会給付型奨学金授与式

名古屋工業会は、平成29年6月7日（水）、名古屋工業大学本部にて水嶋理事長、鵜飼学長の出席のもとに平成29年度名古屋工業会給付型奨学金の授与式を執り行った。この奨学金は、学部の新入生に対し、第1年次から第4年次終了の4年間、経済的理由により学生生活に不利益を生じないよう支援することを目的に、名古屋工業会が今年度から開始した「給付型奨学金」である。

本奨学金第1期生として採用された、情報工学科 今井啓貴さん、創造工学教育課程材料・エネルギーコース 松岡拓実さんの2名は、水嶋理事長から証書を授与され、温かい激励を受けた。その後、水嶋理事長、鵜飼学長、犬塚副学長らと、4年間の大学生活への抱負を語るなど和やかに懇談を行った。

(なお、この関連記事は文教ニュースにも掲載されました。)



奨学金授与者



奨学金を授与された学生（中央）と関係者

情報

ネットワーク

平成29年度 尾張支部総会報告

5月6日(土)平成29年度の尾張支部総会を名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホールで開催しました。工業会から水嶋敏夫理事長、内藤克己常務理事、大学から鵜飼裕之学長のご来賓を頂き、特別講演は富田和音教授にお願いしました。参加者は来賓者を含め50名でした。特別講演とミニコンサートへは家族・知人・一般の方を含め17名の参加もありました。今回は平成20年以降卒業の若い2名の参加は今後の支部活動の活性化への一歩になる可能性を感じました。

第1部の支部総会は音無支部長挨拶、次いで来賓祝辞として水嶋理事長及び鵜飼学長よりそれぞれ近況と今後の方針等をご説明いただきました。続いて、支部長より平成28年度事業報告、大竹会計幹事より会計報告、山内監事より会計監査報告がそれぞれあり、続いて支部長より平成29年度の事業計画(案)の説明があり、全議題の承認を得ました。

第2部は特別講演。CBCテレビアナウンサー兼名古屋工業大学プロジェクト教授富田和音先生より『自分で自分に限界を作らない!!』～アナウンサーが名工大に入学して分かった10の事～とのテーマでお話していただきました。先生自身は還暦を迎える年齢で文科系の人間がなぜ工科系の名工大に入学し、問題はなかったのかとの質問を受ける。名工大へ入学し、授業に出てみると専門用語が飛び交っていて、文科系の人には授業・会話内容は全く理解できなかった。自分で限界を作らないでいたためにチャレンジ心旺盛さで猛勉強し克服した。

東海地区は物づくりの拠点であるが色・デザイン等ソフト面で工夫の余地があるのではないかと。物づくりのメーカーとデザイン人材をリンクさせて新商品開発や販売をした結果爆発的に売れたケースも含め、先生自身がチャレンジしてきた事例を数多く挙げて、どんなことに対しても限界を作らずに柔軟な考え方を持って臨めば成功・目的達成は可能であり、このチャレンジ心が健康で長生きできるとの話でした。参加者の中にはこれから先の余生のあり方とチャレンジ心を鼓舞されたと思いました。終了後鵜飼学長は多忙のため退席されました。



ミニコンサート

第3部はミニコンサート。ソプラノ・林美予子さん、メゾソプラノ・田中祐衣さん、ピアノ・升倉圭太さんでビゼー作曲のオペラ『カルメン』、J. シュトラウスII作曲オペレッタ『蝙蝠』、その他日本民謡・ロシア民謡等を中心に若い歌手の歌唱力・表現力を堪能しました。

第4部は記念撮影。ミニコンサート出演者にも入って頂いてのスナップです。



記念撮影

第5部は懇親会。玉田前支部長の乾杯の音頭をお願いし、ミニコンサート出演者も加わり、立食パーティーで歓談。ミニコンサート出演者全員は同じ高校の音楽科を卒業した仲間の若手のホープで和やかな雰囲気に包まれた。今回初参加者のY44卒前石塚硝子社長の山中昭廣氏の自己紹介を途中で挟み、最後に全員で「東海の邦のほまれに」を斉唱し、伊藤美保副支部長(D44)の音頭で体操を兼ねた万歳三唱後、来年の再会を約して18時30分散会となった。

記：音無通男(W41)

平成29年度 岐阜支部総会報告

(一社)名古屋工業会岐阜支部の平成29年度総会及び懇親会を、平成29年5月13日(土)午後5時から岐阜駅前のホテルリソル岐阜に於いて開催しました。

例年通り総会前、午後4時から支部活性化事業の一つとして講演会を行い、今年度は、川崎重工業株式会社・航空宇宙カンパニーの理事であり生産企画部長の酒井昭仁氏にお願いし講演していただきました。「航空機製造の実際とIoT化への取り組み」と題して、ボーイング787の製造に関わる部品製造や部品管理などについて説明をいただきました。特に航空機は部品点数が非常に多く、中には一機当たり一個の部品もあり、その部品一個を欠品させることも出来ずIoT化に取り組まれました。岐阜県各務原市を中心に立地する沢山の協力工場の協力を得て、年間数十機のボーイング787機の生産をされています。自動車と違って生産数量少なく、部品の生産と管理について初めて知ることも多く、大変興味ある内容でした。

一旦休憩した後、平成29年度岐阜支部総会を開催しました。最初に元島支部長(D40)より開会挨拶の後、来賓の名古屋工業会加川純一副理事長、続いて卒業生連携室長仁科健先生に挨拶をしていただきました。加川副理事長からは名簿管理について、工業会と各単科会とのリンク

が出来ないかなどの課題についてなどお話しいただき、また、仁科卒業生連携室長からは学科の再編成など大学の現状と課題について説明をいただき、今年度は女子学生の比率も15%と増加し学内がカラフルになってきたとのことでした。最後に名古屋工業大学基金への寄付をお願いし挨拶を終えられました。その後5議案を上程し、報告・協議し、滞りなく議決していただき、議事を終了しました。

総会終了時に、参加者全員で集合写真を撮影した後、懇親会を行いました。今回の参加者は会員34名となり前年より増加しましたが、更に会員増強のため今後の活性化に取り組んでいく所存です。

記：岐阜支部代表幹事 関尾 光正(D41)



講演会の様子



総会終了後の集合写真

平成29年・大阪支部「春季歴史探訪の会」開催報告 (奈良飛鳥の古代石遺跡を訪ねて探訪する)

今回は、古代日本史の舞台・飛鳥を訪ね、ミステリーな古代石遺跡を中心に、有名な壁画古墳である高松塚古墳、キトラ古墳なども巡り、日本創成の地、飛鳥の魅力を体感するツアーを企画いたしました。去る4月22日(土)、総勢39名(内、ご夫婦5組)が、近鉄飛鳥駅前に集まりました。ご参加者の中には千葉・松戸市からの西田公也氏(K44)や広島福山市、大津市、姫路市、三木市などから参加される方々もおられ、晴天にも恵まれて、大変華やかなツアーとなりました。

午前は徒歩で①岩屋山古墳、②牽牛子塚古墳、③吉備姫王墓、④欽明天皇陵、⑤カナヅカ古墳、⑥鬼の俎・雪隠、⑦天武・持統天皇陵、⑧高松塚古墳を巡りました。各遺跡の説明は横山(K47)が担当しましたが、日本創成の地ということで、参加者のご質問の内容にも関心の高さがうかがえました。また桜の花は散っていましたが、キクモモ、ハナミヅキ、レンゲなど各種の花が散策路に咲き乱れ、春風に吹かれて、心地よい散策となりました。②牽牛子塚古墳は約80トンの凝灰岩を削りぬいた合葬墓の石槨です。最近の調査では八角墳で、当初は約7,200個の切石がピラミッド状に積まれていたと推定され、考古学会では石の女帝である斉明天皇の墳墓とされている古墳であり、そこに使用された石の規模に驚きました。⑦天武・持統天皇陵は藤原京の朱雀大路を真南に下る延長線上にあり、持統天皇(女帝)の墓領域を含めたスケールの大きな藤原京都市計画造りに感心したものです。

午後は貸切バスにて⑨キトラ古墳、⑩益田岩船、⑪石舞台古墳、⑫酒船石遺跡、⑬飛鳥資料館を巡りました。何ととっても圧巻は益田岩船で、800トンと推定される巨大な石が山の中腹に置いてあり、昔からこの石造物の目的が色々と推測されてきました。加工が難しい飛鳥石(石英閃緑岩)が使われていること、そして加工途中の石全体に大きなヒビがあることより、牽牛子塚古墳石槨を造る際の失敗作である可能性が最近指摘されており、やはり石の女帝・斉明天皇の夢の跡に相応しい遺跡であることを、認識しました。⑪石舞台に移動する時の野口の交差点では、小山田遺跡の横を通りましたが、ここは一月前に石舞台古墳を越える大きな方墳であることが確認され、小山田古墳と命名されたばかりであることが判り、明日香村では発掘が今でも着々と進められており、新しい発見が続いている実態があることが理解できました。⑫酒船石遺跡の酒船石は、酒や薬を作る装置の石であるとか、占いを行う祭壇であるとか、参加者の思い思いの意見が出され、飛鳥の謎は今でも中々解明できない点、その謎の解を各自が自由に思いめぐらす面白さも体感しました。

今回のツアーは飛鳥の石遺跡に絞って廻りましたが、それだけでも一日では廻り切れないほどの多くの見どころがあり、飛鳥寺、橘寺、他寺院遺跡、藤原京、万葉歌碑巡り等々、参加者はまた日を改めて他のテーマでの飛鳥巡りをしたいという思いを強くして、家路に向かわれました。

記：横山 誠(K47)



天武・持統天皇陵前にて



益田岩船にて



酒船石にて

第109回 名工大ごきそ会報告

第109回名工大ごきそ会は、平成29年3月30日(木)に名門桑名カントリー倶楽部で18名の参加を得て開催を致しました。気にしておりました天候も、気分爽やかなゴルフ日和となり、各会員の方々の優勝への意気込みが一段と強く感じられました。

結果は、栄えある優勝は、今回で2試合目があります伊佐治 武様(A39)が、グロス(99)、ネット(81)で優勝されました。2位は、この会の唯一の女性会員である友松敦子様(102)、ネット(86)で獲得されました。3位は、山田和男様(E47)がグロス(107) ネット(89)で獲得入賞されました。

プレー後、恒例の懇親会に入り、団欒の中、表彰式を行いながら、改めて桑名CCのむつかしさを再確認致しました。そして今後のごきそ会について、長く継続する為には、会員の増強が絶対必須であります。今後共、現会員の皆様方と打ち合わせをして、進めて行きたいと思えます。よろしくお願い致します。

次回は、森川民雄様のご紹介による愛知カントリー倶楽部で開催する事を確認し、散会いたしました。

記：柴田 作(A42)



名工会東京支部 第230回ゴルフ大会報告

第230回のゴルフコンペが2017年3月30日本厚木CCで開催されました。桜花の走りの中で、当初23名参加予定でしたが3名の方がご都合により当日不参加となり、20名の方々によりOUT 3組、IN 2組による競技となりました。

参加者全員が無事完走し、めでたしめでたしでした。最高年齢94才、最低年齢68才、平均年齢78才という重厚な大会になり、「進行が遅れています！」との放送を度々聞きながら、ハーフ2時間30分を超えても動ずることのない貫禄のゴルフ軍団でした。

競技場は良く手入れされた平坦なフェアウェイの名門「本厚木CC」で、レギュラーティー使用の6,447ヤードと比較的距離のあるタフなコースに、皆さん御苦労されていたようです。優勝の藤田正浩氏(E33)、準優勝の津田卓美氏(M39)はスコアをしっかりとめられ、皆さんの手本になるゴルフでした。競技終了後は、表彰式と懇親会に移りパーティ会場でゴルフ談義と同窓生との語らいに大いに盛り上がりました。数年ぶりに本会に復帰された加藤規氏(E30)、本会常連の小関健二氏(M18・1922年7月29日生まれ)が話題の中心になり、「ゴルフのできる健康と素晴らしき同窓生に乾杯！」がいつまでも続くことを祈念する諸氏の集まりでした。競技結果は次の通りです。

優勝 E33 藤田正浩 43+41=84 HDCP12 NET72
準優勝 M39 津田卓美 46+46=92 HDCP17 NET75
第3位 A47 三上雄二 46+45=91 HDCP11 NET80

次回231回は千葉県佐倉CCで2017年6月2日(金) 6組にて予約済みです。

当会の活動内容問い合わせ及び入会希望の方はC44川島(k_tai@amethyst.broba.cc)までご連絡下さい。

記：実行委員 清水剛(M45) 松山正之(C42)



平成29年度 名古屋支部“見学研修会”

平成29年度名古屋支部の見学研修会を次の通り予定しています。

詳細は9・10月号にてご案内いたします。会員の皆様（家族同伴可）のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時：平成29年 10月21日（土） 8:00栄テレビ塔北 観光バス駐車場に集合
2. 行 先：おんな城主直虎ドラマ館・本田宗一郎ものづくり伝承館 等
3. 昼 食：館山寺温泉 サゴーロイヤルホテル（入浴可）
4. 会 費：1名 6,000円（同伴家族も同じ。小学生以下は半額。）

支部連絡先：米谷 昭彦 E-mail：yoneya@nitech.ac.jp TEL&FAX兼：052-735-5380

木村 高志 E-mail：t-kimura@nitech.ac.jp TEL：052-735-5381

（名古屋工業大学物理工学科内 名古屋工業会名古屋支部庶務）

計 報

安 井 義 金	C20	H 28. 11	大 原 栄	E13	H 28. 4. 20
森 本 忠	C23	H 28. 8. 9	阿 部 勝 美	E16	H 28. 3. 31
松 浦 聖	C28	H 28. 8. 10	社 本 一 郎	E28	H 28. 12. 30
大 賀 康 義	C38	H 28. 12. 10	高 橋 等	E33	H 28. 7. 2
入 江 義 明	C48	H 28. 4. 16	梅 津 寛	E39	H 28. 7. 16
伊 東 究	Sc⑦	H 24. 12. 21	浅井 ^{旧姓} 櫻井 壽夫	W19	H 29. 1. 20
宮 野 秋 彦	A19	H 28. 12. 6	野 口 豊 宗	W23	H 28. 12. 21
加 藤 義 忠	A20	H 27. 1.	木 村 輝 雄	W28	H 28. 11. 8
豊 嶋 勉	A21	H 28. 5. 6	鈴 木 重 夫	W29	H 28. 3. 26
平 野 恒 雄	A24	H 29. 4.	北 川 正 男	W45	H 21. 4.
太 田 統 士	A31	H 28. 7. 28	平 田 卓 似	D25	
山 田 通	M16	H 27. 9. 25	山 内 有	D34	H 28. 5.
前 田 純 郎	M20	H 18. 3.	水 野 尚 武	D39	H 27. 8. 14
杉 浦 喜八郎	M23	H 26. 9.	田 中 典 男	Y29	H 29. 2. 4
水 野 源 三	M24	H 28. 6.	前 澤 裕	K31	H 28. 7. 20
石 垣 郁 男	M24	H 28. 1.	鮒 谷 清 司	K31	H 28. 8. 21
中 埜 達 哉	M24	H 29. 2. 27	山 岸 憲一郎	K33	H 29. 1.
山 口 譽 起	M28	H 29. 4. 20	大 石 充	F41	H 28. 3.
竹田 ^{旧姓} 吉酒 俊蔵	M43	H 28. 9. 19	大 富 賢 一	F46	H 16. 11. 27
山 口 佳 彦	M52		原 光 雄	Ⓚ20	

謹んで哀悼の意を表します。

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター 定期刊行物 etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる版組みの書籍・表組みの買物も得意分野です。

印刷

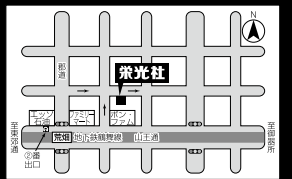
カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通常オフセット印刷に適さないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

総合印刷の 有限会社 栄光社

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町一丁目42番地
TEL: (052) 741-7701
FAX: (052) 741-7703
URL: <http://www2.con.ne.jp/eikou/>
E-mail: eikou@theia.ocn.ne.jp



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

39年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。



株式会社 **ブライダル**

お問い合わせ
(月曜定休) ☎0120-415-412

<http://www.bridal-vip.co.jp>

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 一材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ各種要素技術...

品質系全30講座 一DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法

マネジメント系全10講座 一経営品質、もしどろリーディング、
プロジェクト管理...

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒458-0901 名古屋市中区錦2-15-22リそな名古屋ビル7F

TEL: 052-219-6025

FAX: 052-219-6026

E-mail: solution@worldtech.co.jp

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・廣告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

鈴木 弘司

北川 啓介 (SA⑧)

古谷 正広 (MF③)

関 健太 (EP⑫)

山本 勝宏 (ZW⑥)

北川 慎也 (D⑤)

本多 沢雄 (ZY⑥)

小坂井孝生 (K49)

米谷 昭彦 (F60)

川村 大伸 (SS⑩)

渡 尊司 (名古屋工業大学 広報室長)

学外

堀尾 朋宏 (SU②)

浅野 健 (SU⑥)

廣瀬 光利 (E50)

吉木 満 (W56)

高取 奨 (D⑥)

山田 哲正 (Y47)

大矢 泰正 (K52)

守田 賢一 (F47)

入倉 則夫 (B47)



※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会のメールアドレスまでお願いします。